

九郎ごのへ

是は管領細川右京大夫勝元朝臣之御子江、御一字被下候御内書也、是より政元と名乗給ふ也。

〔殿中年中行事〕正月十四日、○中略國人一揆中ニハ、御酒一獻、但元服アツテ御一字ヲ被申時者、三獻アリ、御一字被下様者、折紙ニ名乗計被遊テ、御酒已前ニ、公方様有御持直ニ被下之、參而給三度頂戴仕テ後懷ニ入テ、其後御酒ヲ被給也、正月元服ノ方々依有之令記録也。

〔柳營秘鑑〕御一字頂戴之家々、但至庶子ハ無御例。

松平加賀守

松平兵部大輔

松平幸千代

松平大隅守

松平陸奥守

松平安藝守

松平大炊頭

松平相模守

松平大膳大夫

松平筑前守

松平信濃守

松平阿波守

松平甲斐守

上杉民部大輔

松平庄次郎

右元服加冠之節、於御前御一字官爵被下之、御盃之上、御腰物拜領被仰付、

一御一字被下之

細川越中守○下略

〔光臺一覽〕三五家中、二條家は代々將軍家の有職御師範之家として、堂上に御門弟も少く候也、其

御親睦に依て、二條家には東照宮以來、關東の御諱字を一字充御用ひ被成御事なり、

〔類例略要集〕御一字二條殿江被進之御禮物、文政七申年四月廿八日

御字被遣候御禮

公方様江

眞御大刀 康光

金壹枚

二條齊敬殿使者

隱岐播磨守